TCC第169回研修・見学記

☆渡辺ドライ本社店舗

8月3日(金)長岡・渡辺ドライの本社店舗を見学しました。

広い道路に面した社工場の前に位置する、広い間口(10間・18m?)のお店で、入って左に、自動受渡のロッカー、シミ抜きのコーナー、正面にレジ2台のカウンター、右に浴衣のディスプレイがありました。昨年度は5600万円 /年を売り上げたそうです。

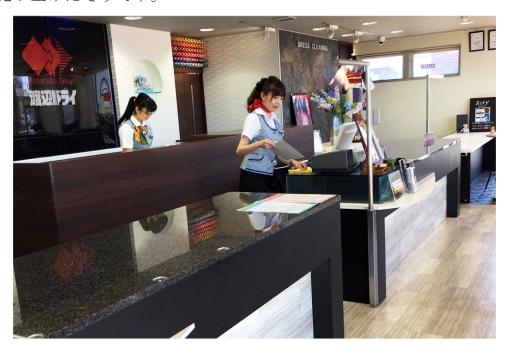


写真1 渡辺ドライ本店のカウンター







写真 2 写真 3 写真 4

写真1は、石の天板のカウンター。レジ2台体制です。写真2カウンターを内側から撮したもの、写真3は、レジの横に物が置かれていない様子、写真4は、レジカウンターの後ろの作業台の作業風景。

お客様に、作業の乱れた様子を見せたくないとの事から、タグは必ず作業台で打

つ、ドロップボックス(写真 6)の入口はお客様の目に触れない高さに設定するなど、細かな点まで配慮されたとのことです。

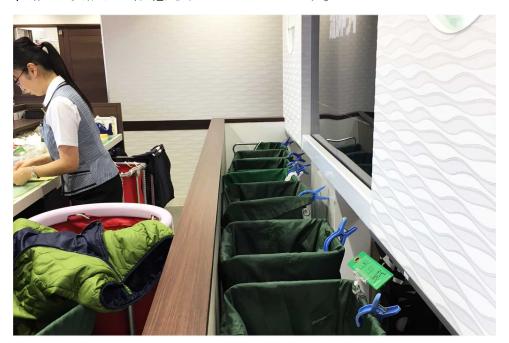


写真5 ドロップボックス (週間コントロール別)







写真6

写真7

写真8

写真5、ドロップボックス(加工、曜日に分けられた6~7個のドライ袋が用意されていました)。写真7は火曜日のドライ袋。写真8は、店の裏側から見たドロップボックス。

商品の工場への入荷平準化はとても順調で、繁忙期の安定納品に役立っているとのことでした。現在はお客様も「渡辺ドライのシステム」として理解してくださるそうです。この商品コントロールは、商品を一時的に溜めることになるので、お客様の目に触れると余り気持ちの良いものでは無いのです。このためのドロップボックスなのです。

このドロップボックス、外国ではキチンと使われているのですが、我が国で、これが本当にキレイに処理されている数少ない例ではないでしょうか。







写真9

写真10

写真11







写真12 クリーニングボックスのパンフレット

写真9、10,11は、店舗左端に設置されたクリーニングボックス(ロッカー)。 写真12は、ご利用説明パンフレット。お預かりは、確認の電話が多く発生するの で今は余り勧めていませんとのことでした。この背景には、『社長日く、うちのカ ウンターはキチッと点検・説明をするので、繁忙期はお客様が並ぶので、もうチョ ット早くならないのかとも考えるのですが、おかげで信頼感が持たれているのだと 思うと、簡単には変えられません』があるのだと思います。

写真13は、店舗左にあるシミ抜き室の様子。写真14は、浴衣のディスプレイ と写真15は、子供に遊んでもらうためのペットたちで、牛のグッズは重量80K gにも耐えるとの話です。

全体にゆったりとしたお店で、こんな店なら働いて見たいと考える方も多いので はないかと思いました。



写真13写真14写真15[終わりに]

短い時間でしたが、有意義なお店訪問でした。多くの人で訪問し、お騒がせしま した。ありがとうございました。